

2026年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社IDホールディングス
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者
船越 真樹
(コード：4709 東証プライム)
問合せ先 専務執行役員 コーポレート戦略部長 原 尚子
(TEL. 03-3262-5177)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、取締役会の実効性向上を図るべく、年に1度、取締役会全体としての実効性に関する分析・評価を実施しています。その結果の概要を下記のとおり開示します。

記

1. 分析・評価のプロセス

2025年度は、昨年度に続き、評価の充実と客観性の向上を目的として、独立した外部機関による取締役会メンバー全員への個別インタビューを実施するなど、第三者評価を実施しました。

分析・評価のプロセスは以下のとおりです。

- STEP 1** 経営の方向性・課題について議長へインタビューを実施、アンケートを作成。
- STEP 2** 取締役会全体に対して無記名式アンケートを実施。
- STEP 3** 質問票回答結果をもとに、取締役会全体に対して個別にインタビューを実施。
- STEP 4** アンケートおよびインタビューの内容を踏まえ実効性を評価。
- STEP 5** 取締役会全体でディスカッションを実施し、重点的に取り組む項目について確認。

2. アンケート項目

- ① 取締役会の役割・機能
- ② 取締役会の規模・構成
- ③ 取締役会の運営状況
- ④ 指名報酬委員会の構成と役割
- ⑤ 指名報酬委員会の運営状況
- ⑥ 社外取締役・社外監査役に対する支援体制
- ⑦ 投資家・株主との関係
- ⑧ 当社のガバナンス体制・取締役会の実効性全般
- ⑨ 自己評価

3. 評価結果

当社の取締役会は、業務執行の監督や意思決定、サクセッション・プラン、グループのガバナンスとその機能強化、ステークホルダーのバランスを重要な役割として認識共有しており、適切な構成メンバー、運営のもとで、活発な議論がなされていると評価されました。また、2024年度の取締役会評価において認識した重点施策に対する取組みや議論の充実化に向けた取組みの継続により、取締役会の実効性が向上していることを確認しました。

(1) 2024年度の取締役会評価における2025年度の重点施策への取組み
取組み状況は以下のとおりです。

重点施策	取組み
中期経営計画の進捗のモニタリングや、それを踏まえた事業戦略、人的資本への取組みについて定期的に十分な議論を行う。	取締役会での定期的な議論に加え、役員合宿をつうじ、中期経営計画の進捗状況について重点的に議論し、適切なモニタリングを実施。
社外役員との意見交換会をより拡充し、社外役員からも取締役会で取り上げるテーマを提案することで、さらなる議論の活性化を図る。	取締役会後に社外役員のためのフリーディスカッションを実施。テーマを設けず自由に意見交換や認識共有を図り、その場で出た意見や検討事項は執行側にも共有し、必要に応じて取締役会の議題として取り上げるなど、議論の充実化に向けた取組みを実施。
指名報酬委員会において、年間計画を策定し、適切な情報開示を行った上で議論を行っていく。また、サクセッション・プランの取組みの状況について、継続的に議論を行う。	役員合宿において、CEOを含むサクセッション・プランの進め方について重点的に議論を行い、指名報酬委員会をつうじて定期的に進捗状況の報告を実施。

(2) 取締役会の議論を充実化させるための取組み

上記の重点施策に対する取組みに加え、取締役会運営において、開催前に議題の説明動画を掲載し、取締役会での説明時間の短縮化を図ることで、重要な経営課題に充てる議論の時間を重点的に確保しました。また、外国籍の社外取締役が発言しやすい環境を整備するため、通訳を導入するなどの改善を進めました。さらに社外役員は事業拠点への視察をはじめ、社内外のイベントや会議に出席し、情報収集による事業理解が促進され、取締役会における活発な議論および監督機能の向上を実現しています。社外役員が当年度に取締役会以外で参加した委員会・イベントは以下のとおりです。

委員会・イベント	2025年度開催日	内容
主管者会議	4/18、10/17	推進担当者による中期経営計画に対する進捗状況、事業戦略に関する報告 等
指名報酬委員会	4/15、4/28、4/30 6/16、7/31、12/15、 1/30、2/20、3/16	取締役の報酬、グループ会社執行役員人事、役員体制、取締役人事、決算賞与、株式報酬 等
経営委員会	4/15、4/28、5/22、 6/16、7/31、9/17、 10/31、12/15、1/30 2/20	投資、資本・業務提携等の資本政策、中期経営計画に関する議論を実施
グループリスク管理委員会	5/22、11/18	年間計画、総合評価の報告、リスク評価の見直し
事業現場視察	4/21-4/22 3/11-3/12	事業拠点へ訪問し、現場状況を確認
役員合宿	9/25-9/26	中期経営計画の進捗状況、サクセッション・プランについてディスカッションを実施
社外役員意見交換会	取締役会終了後	経営課題等に対する意見交換を実施（計13回）

ID サロン	2/3	社員向けの講話・懇親会にて社員交流を実施
i-Partner 会	4/14、10/28	事業会社社長による取組み・注力案件の報告 等

4. 今後の取組み

今回の評価結果を踏まえ、以下について一層取り組んでいく必要があることを確認しました。

- ・成長戦略や事業ポートフォリオなどの中長期的な戦略、ならびに人材・内部統制・リスクマネジメントといった重要な経営課題について、より一層議論を深める。
- ・執行側からの情報提供の機会を増やし、遂行状況を適切に把握することで、取締役会のモニタリング機能のさらなる向上を図る。
- ・指名報酬委員会において、委員会の役割・機能向上に向けた認識を共有し、適切な情報開示を行った上で議論を進める。また、サクセッション・プランについては、選定プロセスを明確化した上で継続的に議論を行う。
- ・引き続き、取締役会以外の場も活用しつつ議論の機会を充実させ、取締役会メンバー間の意思疎通の深化を図る。

今後も上記をはじめとした取組みを継続することで、取締役会のさらなる議論の深化と実効性の向上に努めます。

以 上